



じょうそう ほこね  
上層 箱棟

ちようぶ  
屋根の頂部に箱棟を組み立てました。

ここの部分です



(公募写真)

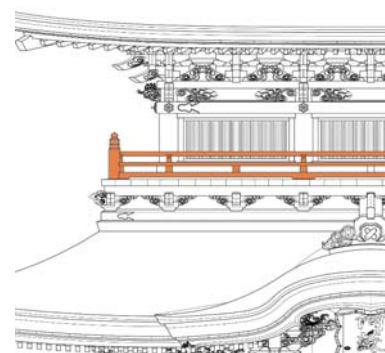
おおとびら  
大扉

大扉を取り付けました。  
修理が完成した暁には、この大扉は修理前と同様に開放されたままとなるそうです。



えんまわ こうらん  
縁廻り 高欄

縁の高欄を組み立てています。





いちもんじがま  
一文字葺

加工した銅板を葺いています。

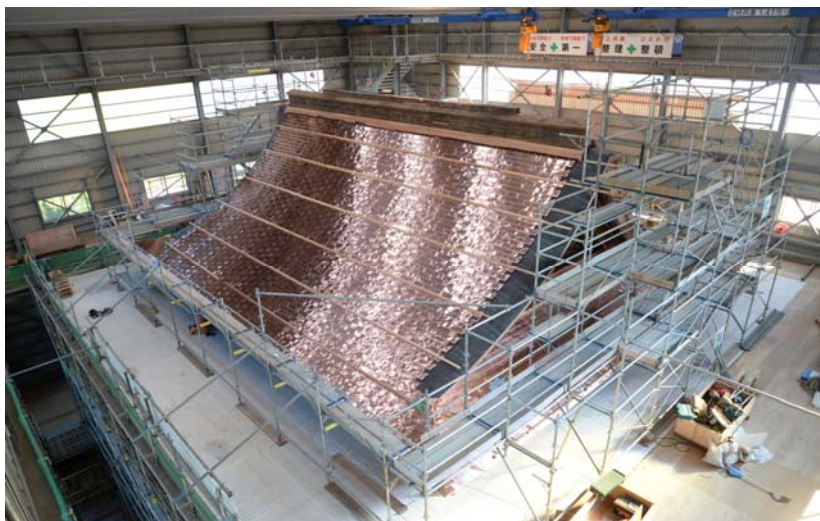
ハマグリ取付

前月加工した、ハマグリを現場に合わせ微調整しながら取付けました。



どうぼんがまじょうきょう  
銅板葺状況

概ね葺けましたが、曲線部分が多い、妻部分の軒付や箕甲が残っています。また、箱棟も銅板で包みます。





から は ふ の き づ け  
唐破風 軒付

下層の唐破風部分の軒付を先行して取り付けました。



お に どう ぼ ん つ つ  
鬼 銅板包み

熱して柔らかくした銅板を叩き、鬼の彫刻を打ち出します。銅板は熱すると叩くまで柔らかいままという性質があります。



お に どう ぼ ん つ つ  
鬼 銅板包み

丁寧に打ち出していくと木下地にぴったりと叩き出すことができます。

破れないように打ち出すことは、大変繊細で地道な作業で、熟練した技を必要とします。

